

事業所名

アイリー 西宮

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

7 日

法人(事業所)理念		【福祉から社会をオモシロく】 福祉は人の人生に関わる大切な仕事である。だからこそ多様な価値や可能性を創出していき地域の課題・社会の課題を解決していける企業でありたい。 常識にとらわれず挑戦し続ける福祉企業へ。関わる全ての人と人生をオモシロく。		
支援方針		一般社団法人あるとぶるぐのMission「存在意義」は福祉から社会をオモシロく。Missionを達成するためには、子どもたちが今も将来もオモシロい！を感じながら生きていくことが大切である。 そのために自立訓練と就労訓練を中心としたプログラムを提供しながら「オモシロい！」と感じられるようなイベントや活動を実施し、これらの活動を通じて生きる力の基盤となる自立と社会参加への道筋を共に築いていく。		
営業時間		9 時 30 分から 18 時 30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	・日々のスケジュールや時間を意識して行動に移せるよう、タイムスケジュール、当番表の掲示と事前の声掛けで見通しを立てる。掃除を習慣づけ、生活自立の訓練としてサポートする。タイマーの使用や誘導を行うなど、1人1人に分かりやすい支援の実施。 ・身辺自立に向けた身の回りの支度や整理など、ADL、IADLの向上に繋がる訓練や見守り、声掛けを行う。 ・お迎え時に学校、保護者様と日々の情報共有と健康状態やコンディションについてスタッフから本人に問いかける。		
	運動・感覚	運動: ボール(野球・バスケットボール・サッカー等)・ボルダリング・マット運動・トランポリン・縄跳び・自転車・ダンス・野外活動 制作: 絵描(アクリル絵の具やカラーペン)・スライム作り・プラバン・レジン・アクセサリーづくり・季節の飾り付け クッキング: カレーライス・チャーハン・ギョーザ・たこ焼き・お菓子(クッキー・ホットケーキ)等 上記の活動を通じて生活の充実と目と身体の協調性や身体能力の向上に繋がる支援の実施。		
	認知・行動	・日々の課題(学習)やブロック、プラレール遊び、創作活動を通じて数字・形の大きさ・色の違いや時間・数・空間の認知を取得できるプログラムの提供。スケジュール表や当番表の掲示、スタッフの説明や誘導を行い、視覚と聴覚を活用し、情報収集して行動に移せる支援の実施。 ・お金の計算や、公共の場で適切に過ごすなどのスキルを身につけられるよう、お買い物学習の実施。		
	言語 コミュニケーション	・広々とした空間で遊びを通じて、子どもたちの「したいこと」「して欲しいこと」を引き出し、やりとりの中で「伝えること」「伝わること」の大切さを伝え、相手のお話や気持ちを「汲み取る力」「聞く力」も身に付けられるよう、各人の能力に応じた支援の実施。 ・絵カードによる視覚的コミュニケーション支援の実施。		
	人間関係 社会性	・決まり事やマナーを守れるよう指導し、経験を積めるプログラムを展開している。集団活動(集団運動・集団制作・クッキング・遠足・就労体験など)を通じて、「楽しい!」を共有しながら集団行動の大切さが身に付くよう各人、年齢に応じたプログラムを実施の実施。 ・グループ内の事業所と定期的に合同イベントを行い、交流を図る。		
家族支援	・送迎時や面談時に最近の様子や困りごとを傾聴し、ご家族、本人の悩みに寄り添いアドバイスや情報共有を行う。 ・ご家族参加型イベントを実施し、交流の場を提供。	移行支援	未就学: 進学前から相談支援員と連携を図り、事業所見学・体験を行う。 就労: あるとぶるぐではアイリー PLUS[就労継続支援B型]を運営しているため、連携し就労に向けて的確な訓練や体験、将来の見通しを立てられる支援を実施している。卒業後も培ってきた信頼を引き継ぎ自分のペースで安定して働ける環境を提供できるよう務めている。	
地域支援・地域連携	地域交流型のイベント(ハロウィン・クリスマスなど)を実施し、地域の方々へお菓子を配布したり、近所の介護老人福祉施設と交流している。	職員の質の向上	・放デイの在り方含め、サービスの質向上に繋がる事業所内研修を行っている。 ・各職員にマッチする外部研修や資格取得に向けて会社から提案する等、本人が関心を持った資格や研修があれば参加している。	
主な行事等	四季を感じることは生活の充実と直結し、感受性豊かな心を育てる。季節を感じることは日本の文化のひとつである。その季節ならではの行事、食文化や自然を五感で知り、季節感を育めるイベントの実施。あるとぶるぐが運営する事業所全体で、合同運動会や夏祭りなどの大型イベントも毎年開催している。			